

# 科研費「大学における一般情報教育モデルの構築に関する研究」

## の成果報告

河村 一樹

東京国際大学商学部

kawamurk@tiu.ac.jp

**概要：**情報処理学会一般情報教育委員会の委員を中心に、大学の一般情報教育モデルに関する調査研究を、科研費の補助を受けて実施した。その成果報告を行う。

### 1 はじめに

情報処理学会一般情報教育委員会では、大学における一般情報（処理）教育に関する調査研究活動を長年進めてきた。その中で、国内の大学等における一般情報処理教育の実態調査を、ほぼ10年おきに実施している[1]。前回の調査[2]から10年以上が経過したので、今回、全国規模の実態調査を行うこととした。

その際に、国内調査だけでなく海外（アジア圏）の調査を含めるとともに、これからの大学における一般情報教育モデル（GEM：General Education Model、以降GEMと略す）まで策定することにした。それに合わせて、平成25年度の科研費に申請した結果、採択された<sup>1</sup>。

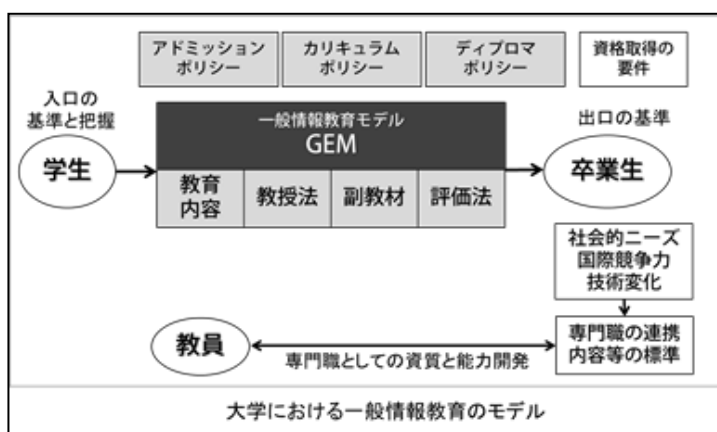
平成25年から3年間の研究期間であることから今年度が最終年度にあたり、本企画セッションにおいて、その調査研究の成果報告を行う。

### 2 本研究の実施報告

#### 2.1 本研究の目的

本研究の目的は、2016年度以降の大学におけるGEMの構築を目指すことにある。GEMは、単に一般情報教育に関する教育内容（シラバス、知識体系）だけでなく、カリキュラムポリシーとしての教授法・副教材・評価法を含む点に特長がある。具体的には、GEMを構築するにあたり、

- 1) 全国規模での大学における一般情報教育の実態調査を行い、その現状を把握する
- 2) 海外（アジア圏）における一般情報教育の教育



水準について調査することにした。

また、アドミッションポリシーとしての高等学校までの情報教育の成果、および、ディプロマポリシーとしての産業界の卒業生に求める情報技術力についての調査を行う。

これらの調査結果をもとに、最終的にはカリキュラムポリシーとして、一般情報教育の教育内容を策定するとともに、指導方略や副教材、さらには、ルーブリックを用いた評価基準まで取り込んだ形でのGEMの構築を目指すこととした。

これによって、これからの大学における一般情報教育の推進を支援すべく、大学・産業界・国際社会のニーズ・シーズを勘案した推進施策の策定を試みる。

#### 2.2 本研究の計画

年度毎に、次のような計画を立てた。

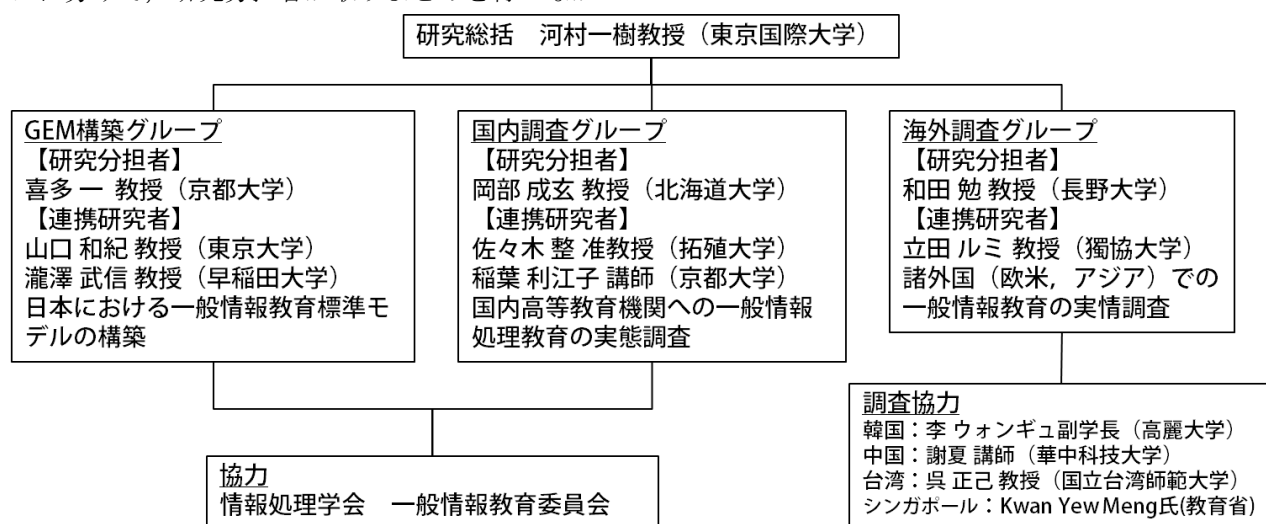
- 1) 平成25年度
  - ・初中等教育での学習指導要領および検定教科書の分析
  - ・産業界の大学に対する情報技術力の調査

<sup>1</sup> 基盤研究(C)25350210 で取得

- ・海外（アジア圏）での1回目調査
  - ・全国規模での一般情報教育調査の準備
- 2) 平成26年度
- ・Webによる一般情報教育調査の実施
  - ・海外（アジア圏）での2回目調査
- 3) 平成27年度
- ・1)と2)の調査研究結果を踏まえた上で、GEMの構築
  - ・3年間の調査研究成果の公開（AXIESの企画イベント、IPSJの全国大会、委員会のWebサイト：<https://sites.google.com/site/ipsj2010sigge/home>、著書）

### 2.3 本研究の体制

情報処理学会一般情報教育委員会の委員を中心に、河村（研究代表者）が統括し、3つのグループに分けて、研究分担者が取りまとめを行いなが



ら進めた。

- 1) GEM構築グループ：喜多，山口，滝沢
- 2) 国内調査グループ：岡部，佐々木，稲葉
- 3) 海外調査グループ：和田，立田

なお、申請時点での一般情報教育委員会のメンバーは、次の通りであった。

- ・委員長：河村一樹
- ・幹事：駒谷昇一，立田ルミ，佐々木整
- ・委員：喜多二，山口和紀，滝澤武信，岡部成玄，稲葉利江子，和田勉，北上始，中西通雄，水島賢太郎，山下和之，湯瀬裕昭，布施泉，山川修

(※ 二重線下線は研究代表者，一重線下線は研究分担者，破線下線は連携研究者)

### 3 おわりに

今回の企画イベントでの発表以外に、現在の一般情報教育委員会の委員を中心に執筆する著書を発刊する計画がある。書名は「これからの大学の情報教育 (仮称)」とし、大学での一般情報教育を取り巻く状況、一般情報教育の体系化の試み、一般情報教育の展開、教材と教授法、プログラミング教育、学会の果たすべき役割、などについて取り上げる予定である。

また、今回の科研費での調査研究を踏まえた上で、今後は高大連携および高大接続を考慮した大学一般情報教育の取り組みについても検討を進めたいと思っている。

### 謝辞

本研究は、JSPS 科研費 25350210 の助成を受

けたものです。また、情報処理学会一般情報教育委員会の現委員の方々のご協力に感謝致します。

### 参考文献

- [1] 河村一樹：一般情報（処理）教育に関するカリキュラムと教授法—情報処理学会一般情報教育委員会での活動を踏まえて—，東京国際大学論叢商学部編，第81号，pp.15-34，2010年
- [2] 大学等における一般情報処理教育の在り方に関する調査研究委員：大学等における一般情報処理教育の在り方に関する調査研究（文部科学省委嘱調査研究），情報処理学会，2002年